

# コミュニティバス改善案説明会（立花地区）

2011年1月19日 10:00～ 立花地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつと今まで行ってきた話し合いの経緯の説明があり、その後コミュニティバス改善案説明会が開催されました。

## 前回までの経緯

21年度は中部病院につなぐということでルートを変えた。

その運行を一年間やってみた結果、運賃収入を除いた運行経費70%以上補助金で賄われた。

ほとんどが補助金で運行されている状況。

現状では、今の規模を維持していくのは厳しい。

今年度、去年の4月から乗降調査をしたり、地域への説明をしたりして今日にいたっている。

5月の時点でコミュニティバスが走っている5地区に現状説明をし、11月にこれからどういう風にするか意見交換をし、そこでの案をふまえて修正した物を持ってきました。

## 方針

11月に実施した地域説明会でのご意見及びその後の協議をふまえた方針は次の通り

- ・ルートは説明化の通り（二子地区は個別に協議した結果）
- ・運賃は各地区の意見をふまえて「市街地ゾーン内利用の場合のみ150円」とする。他地域は現行通り
- ・下村発第1便は北上北中学校通学対応を考慮して、「大門～川端」フリー区間にて時間調整することとする
- ・祝祭日については原則運休（平成23年度は1週間のうち2日間運休となる週はないが、平成24年度以降両日運休の場合は木、金運行とする

## 確認事項

- ・今後は定期的に各地区において利用促進を市との協働により実施し、収支率50%を目指す事

とする。

- ・1年半継続して、収支率が一定基準に満たない場合には抜本的に運行のあり方を見直す
- ・運行の見直しには、路線、ダイヤの再検討、料金の値上げ、地域主体の需要に見合った適正規模の支線交通への切り替えを含む

## 運行ルートについて

- ・立花地区に関しては、珊瑚橋を渡らないで日高橋を渡ってまちなかへ入って行く為、済生会病院やまちなかへ行くには若干遠回りになってしまう。まちなかの幹線区間の運行を週4日運行ダイヤで合わせ利便性をアピールしたい。済生会病院はこれまで通りに目の前のバス停の運行です。
- ・利用目的が通院や買い物がほとんどということで、大内整形外科病院や他の病院が並んでいるため、今まで中央図書館を通過していましたが、市役所から北上し陸橋を下り東北電力の辺りを通り西に進み白百合橋の方に入って行くルートの変更を考えています。
- ・飯豊立花黒岩線に関しては八天の里から飯下公民館まで行くルートは変わっていませんが、飯豊地区の中部病院以降に関しては立花黒岩二子更木線と同じように週2日で、火・金曜日の二子更木線に関しては、終点を飯下公民館まで行かないで中部病院までとしたい。

## 運行時間について

- ・一日4往復で今まで通り。
- ・前回の皆さんの意見情報交換や利用実績をみて最後の便が非常に少なかった為、まちなかを中心に考え最終4便目の現状15時30分を1時間早めて14時30分に検討させて頂いた。

## 運行概要

目標人数は夏に行った情報実績です。今回冬にも情報調査を行い1.5倍の利用者数だった。まちなかに行くにつれて利用者が多かった。冬につれて利用者が多くなるのかなと感じている。来年度以降も出来る限り季節を変えて情報調査を行い、運行の状況を的確に把握していきたい。

#### 意見交換

ロックタウンの通りですが、バス停はどの辺ですか？

信用金庫の前に黒沢尻2丁目があり、ロックタウン施設前にも置けないものかと考えておりますが、路側帯がなく交通量など多いため警察と調整して今回の改善には間に合わなかった。通学路になっている為、日高見橋手前に押しボタン式信号を置きたいと警察の方で考えているようなのでその辺と連動出来ればと考えています。信号を付けたら混むなどは今後の動向をみながら調整してみたいと思います。

吉内のバス停回転広場ですが、広場の方まで除雪をしてもらえないのだが、市ではどう考えているか？雪が降った時の対処方法を教えて欲しい。除雪する方で変わる場合もあり、その辺をうまく伝わってもらいたい。

除雪に関しては環境課の方にこちらからもお願いする考えです。事業者事体も雪の降る前から路線バスを含めて関係団体をまわってますので、あとは細かく何度もやり取りするしかないと思っています。何かあれば交流センターを通してでもいいので言ってもらえればと思います。

人数を増加するという目標がありますが、その目標に向けた具体的な案があるのですか？

今後どうするか？といったことは、2月に「利用促進に向けて」ということで、このような場をまた設けてそれぞれの地区で既にやっているよ

うなコミュニティバスの利用促進の取り組みや、今後取り組んでみたい事など5地区並べてみてこういった案もありますよと提示してみたい。地区の行事にコミュニティバスの時間を合わせるとか、地域のまちづくりとしてやっている部分や「こういうのをやります。バスで来て頂いた方にはこういった特典があります。」といったものが仮に出来たとすれば、それをバスの中に貼ったり市の広報などでお知らせしてまちなかからバスで来てもらうという利用促進策を検討してみたいなと考えています。

バスの利用者に女性が多いが、男性も増やすように何か考えた方がいいと思う。車に乗れなくなった男性もだんだん増えていると思う。

今後は男性でも冬道運転するのは危ないな、免許を返そうかなといった人が増えてくると思います。そういった時にバスに乗って移動してみたいと思ってもらえるようなわかりやすい時刻表やルートなどの情報発信を2月の説明会で提示出来ればと思っています。今回は説明会の資料なのでルートや時刻表などわかりやすさを念頭に置いた作りになっていませんが、案がまとまり料金やルートなどはパンフレットやチラシなどで皆さんにお知らせしたいと思います。

地域の意見を聞いた上で時間や運営上の運賃の値上げとかいろいろと掲示してやっていることだが、コミバス運営協議会というものをつくった上で協議するのもひとつの手ではないかと思う。乗らないから路線を変えるとか運賃を上げるとか目先をそこについてはダメだと思う。

バス停に行って何時に来るか？どこに行くのか？わからない感じ。バス停に広告を載せ、それを経費としてやればという方法もあるのではないか？バスの運営協議会については帰ってから検討させていただきたいなと考えています。時

間の面でいうと、すべて分は何分にくるよとすべてのバスで合わせて、立花地区でいうと月曜日の何時何十何分には来るよ、必ず2時間おきに来るよといったかたちで、わかりやすさを今回考慮したところがあります。行き先については、これまでバス停に時刻しかなかったが、路線図的なものを付けられればと考えています。原案はできていますが、それぞれ路線ごとバス停ごとにバス停の最寄りの施設を一覧表にし、わかりやすく、見やすくできるようにしたいなと思っております。資料全部を印刷して全世帯にはなかなか難しいものがありますので、交流センターや市のホームページなどで見ていただくのがいいのかなと考えております。

企業協賛ですが、バス停の正式名称をなかなか変えたいものがありますがふく呼称として例えば「ロックタウン前」としてその様々な施設や病院と交渉させて頂き付け、協賛金をお願いしさらには、その副呼称が付いた施設側でベンチや待合場所などを置いて頂きそのバス停を使ってもらうのはうちのお客さんだと思って頂けるようにやっていければいいのかなと思います。

コミュニティバスに実際乗っている方というのは、交流センターには来ない方々だと思う。フレディとか各自治体公民館単位でやっているサービスにくるようなお年寄り達が主に乗ると思う。運行ルートや時間表はその方々の見える程度の字の大きさにして、各自治体公民館などに置いて来た時にみてもらった方が乗車率を上げる手立てになるのではないかと思う。

今回は必要な情報だけ載せた資料になっていますが、2月にはわかりやすい資料を提示したいと思っています。問い合わせのある地区もあるようなので各交流センターにまずおきたいなと思っています。昨年、成田地区のフレディに行き、成田路線の現状を説明しながらもっと利用してほし

いと意見交換していますが、フレディのネタに困った時に伺い説明させて頂きます。実際にバスを利用してもらいたい皆さんに直接お話しをしながら意見交換を設けていきたいなと思いますので、遠慮なく申し出してもらいたいなと思います。

フレディですが、決まった方が来ていて全員が来ているわけじゃないです。紙の質は悪くていいので、出来れば各家庭にあれば乗ってみようかなという気になると思う。

各家庭にある程度のチラシやパンフの一枚ものはまわすことが出来るかなと思うのですが、各バス停の最寄り施設紹介一覧は結構な資料になり、皆さんにお配りするのは難しいものがあります。わかりやすい資料を検討していますが、普段バスを使っていないとわかりづらいものがあると思いますので、そういった方にはフレディに来て頂き私どもとお話をしてもらうのが一番いいのかなと思います。

わかりやすくと言うことですが、わかりやすく内容が深くとなると字数が多くなると思います。年寄りには字を読みたくないのです。出来るだけ字数を少なくして大事なところだけでいいのです。

そうすると必然的に情報量が少なくなります。乗りたい方のニーズは千差万別で、いろいろな使われ方をします。すべての情報を網羅する資料にならないのです。個別に資料を見て市役所に聞いてもらうのもいいのですが、資料作りで考慮しているのは見やすさです。



今回運営協議会の話が出ましたが、2月の説明会ではコミュニティバス地区以外のそれぞれの地域の支線交通どうでしょうか？それに対し市はどう支援出来るのか？という方向性を示すものをつくりたいと考えています。地域計画の中でも公共交通を取り上げている地区があり、まちなかじゃなくてもそれぞれの各地域についても視角問題といたところがあります。公共交通をどう考えていくか？という方向性として、それぞれの自治協単位で支線交通口内のような取り組み（ボランティア輸送）を情報提供やアドバイスの話をしたいと考えています。それぞれの地区が運営協議会となるようなかたちで各地区の交通をまちづくりの中にどう位置づけていくか？交通というのはツールの一つなので、それぞれの地区に住み続けるにはどうしたらいいか？普通に買い物するにはどうしたらいいか？地区のまちづくりと一緒にしたものができるか？といった時に、それが地区の運営協議会みたいなものとなるのかなと思います。コミュニティバスに関しては全体の企画運営は市で行っていますが、利用促進の分に関してはこれまでと同じように各地区でどういった利用促進策があるのか？といったように考えて頂き、その中で各地区を集めて一緒に考えた方がいいのではないかという声もあれば、5地区を集めて一つの組織とするという考えもあると思います。

今後もいろんな意見など出してもらい協力して頂ければと思います。

引き続きよろしくお願い致します。